

ぷらネットこまき

(古牧地区住民自治協議会広報紙)



第40号

古牧だより通算134号

より「絆」が深まったこの1年

今年度の古牧地区住民自治協議会の活動について、小布施事務局長さんに、松本広報部長がお聞きしました。

今年度の、古牧地区住民自治協議会の活動で、印象に残っていることは、なんでしょう。

うーん そうですね。3つありますね。

1つは、1,200人も集まってふれあいと絆を深めた「防火防犯ポスター30周年記念フェスティバル」。

2つめは、地区振興部会が12地区で「災害時援護者避難計画書」を作成し、支援体制の組織化ができたこと。

3つめは、福祉健康部会が、今後の古牧地区福祉団体のネットワーク化・ボランティア活動の拠点として「古牧地区ボランティアセンター」を、設けたことかな。

他の住民自治協議会と比べて、古牧地区住民自治協議会の特に目立つことは、なんですか。

そうですね。いろいろな会議に出席して、特に感じることは、(まだ充分とはいえませんが)古牧地区では、市の都市内分権の考え方に近い協議会の組織が、できていることですね。例えば創立以前の「区長会」などの「なごり」が残っている地区が多くあります。(古牧地区では、地域振興部会として)

もう1つは、他地区の広報紙発行は、年2回くらいが多いのですが、古牧では「ぷらネットこまき」が10回発行で、回数が多いことを感じています。

住民自治協議会の財政は、どうなっているんですか。

古牧地区の1世帯570円 合計約600万円、市からの交付金1,700万円、各事業の補助金200万円、合計2,500万円で運営されています。みなさんの負担金は、各区から出していただいています。非常にあり

がたいです。効率的・無駄のないように使わせていただきます。

事務局体制の整備・強化の一環として事務長設置が、話題となっていますが。

そうですね。市内32地区に住民自治協議会が設立されていますが、どの地区でも最大の課題となっています。よりスムーズな運営を図るためには、事務長はぜひ必要です。人・雇用など難しい問題がありますが、古牧地区でも事務長設置の方向で、前向きに取り組んでいます。

住民自治活動について、皆さんに、要望がありますか。

「ぷらネットこまき」などを見て、住民自治協議会が、何をやっているのか関心を持ってほしいですねー。注文や意見などちょっと少ないように感じています。どんどん意見・要望など出して、関心をもってほしいですね。ホームページからメールが送れるようになっています。手軽にメールしてください。

最後に、今年度の住民自治活動を、点数で評価すると、何点になるでしょうか？

難しい質問ですね。うーん 70点くらいかな。各部会とも手ぬきがなく、事業が推進されたこと・また経費なども効果的に使われたことから、70点くらいですか。少し厳しいかな。組織的に、住民自治協議会結成以前の「なごり」があり、課題が残っているので、100点満点には、もう1歩ですね。

忙しい中、ありがとうございました。

平成23年度

住民自治協議会事業が終了!!

各部の主な実施事業をまとめてみました

地区振興部

要援護者避難支援計画書の作成

地区振興部では、古牧地区の皆様が「安全で安心して住みやすいまちづくり」を目指して、高齢者や障害者など、災害時支援を要する「災害時要援護者台帳」のもとに、民生児童委員さんの協力を得ながら「わたしの避難計画書」等を作成しました。

個人情報の守秘及びプライバシーの保護に配慮しながら、自力で避難できるか、できないか、また、避難場所、お手伝いしてくれる人等が記入されております。

何かが起きた時にすぐわかるように、プラスチックの筒に入れ冷蔵庫に保管しております。

高齢化がすすみ、年々要援護者が増えており近隣の皆様との日頃からの「絆」「コミュニケーション」が大切と思います。



子育て支援部

どきどき わくわく元気っ子広場 地域で支え合う 子育て支援

古牧各地区に「子育て支援」の活動の輪が広がり2年目となりました。

0歳だった子が2歳になり散歩で会うと嬉しそうに手を振ってくれます。

地域によって、それぞれが創意工夫を重ねユニークな発想とアイデアで定着しつつあります。

三世代交流により、思いがけない出会い、ふれ合いに子育て支援の笑顔の輪が広がっています。

子育てに悩むご家族を無くし～古牧に住んで本当に良かった～と
言ってもらえる環境を目ざしたいものです。

“子は宝 ひとり一人を大切に”



福祉健康部

各区で「何でも懇談会」開催 貴重なご意見に感謝

支え合い・助け合い、豊かな街づくりを目指してこの1年間、取り組んでまいりました。2月21日、福祉関係諸団体の皆さんが一堂に会し、この1年間の福祉活動を締めくくりました。

各区において開催された「何でも懇談会」で出されましたご意見・要望を話題にこれからの地域福祉の在り方について意見交換しました。

「お茶のみサロン」や「ふれあい会食会」は大変活発で総じて、各区とも好評にいただいた事業でした。ご近所付き合いが希薄になりつつあること、一人暮らしの不安など地域福祉に対し期待するご意見を数多くいただきました。役員の高齢化、なり手不足等も深刻な課題として問題提起されました。

今、真に地域ボランティアが求められていることを実感した会議でした。

24年度も努力してまいります。引き続きご支援ください。



人権・男女参画部

地域のささえで 人権男女参画事業の推進

- ①学校と地域で人権を考える集い（学社連携住民集会）
6月29日 南部小学校
講師 長野市人権同和政策課
指導主事 篠井俊郎 先生
- ②男女共同参画啓発セミナー
11月18日 古牧公民館
講師 信州大学教育学部教授 松岡英子 先生
- ③13地区 町別人権同和教育研修会
11月～1月実施
- ④ぶらネット古牧
「人権・男女参画だより③④」を発行
- ⑤人権男女参画部部員研修会
24年2月8日 古牧公民館
講師 人権センターながの事務局長
高橋典男 先生

安全部

4,619名のパトロール参加

安全部では1年間を通じ、子どもを守るパトロールを各区において児童の下校時に実施、延べ4,619名が参加、また青色灯自動車パトロールも年間18回実施、54名が参加しました。第30回記念防火防犯ポスター事業では、小中学生702名が応募、審査会で入選を決定、表彰式を行いました。記念のフェスティバルは約1,200名の参加でした。その



他春・夏・年末の地域安全運動、8・12月の防犯夜間パトロール、護身術講習会、道路白線引き等を行いました。

環境美化部

ごみのない まちづくり

環境美化に係る事業・活動は各区毎に実施しており、その促進・支援のために、補助金交付事業を行っています。平成23年度実績額は、ルール違反ごみ処理活動299,995円、春秋ごみゼロ運動等63,396円、アメリ口防除活動36,279円、不法投棄防止看板設置94,746円、ごみ集積所設置・改修179,550円で総額673,966円でした。研修事業については、10月に埼玉県大里郡寄居町の彩の国資源循環工場（廃棄物のリサイクル）等を視察しました。



文化教養部

地域づくりと文化芸能の継承を



23年度事業計画により、役員研修会とふるさと文化芸能祭を2本の柱として活動してきました。公民館部会役員研修会は、生涯学習の時代と言われるなか、地域づくりのために地域公民館に寄せられている期待が大きいなかで、公民館活動の進むべき方向や活動のあり方などについて考え合い、地域公民館相互の交流を一層強め今後の活動の活性化に反映されるように、今年度は信州新町の玉泉寺住職笠原憲正氏をお招きして講演をいただき交流を深めました。

また第28回ふるさと文化芸能祭は、地域文化芸能の継承と向上を図り地域相互の理解と親睦を深めることが趣旨にあります。今年度も展示部門、芸能部門に地区の大勢の皆さんに参加いただき開催されました。とりわけ第1部芸能部門では今年も小・中学生による合唱・演奏は迫力満点で元気をいただきました。28回を迎えますが、今後も多くの観覧者の皆さんに御参加頂けるように工夫しながら回を重ねて行くことが必要です。

体育部

白熱した球技大会

体育部の主催事業として、今年度は、8月に古牧地区公民館対抗球技大会、10月に三世代交流ふるさとふれあい教室を行いました。球技大会では、野球・バレーボール・卓球のチーム対抗試合を行いました。各競技で白熱した戦いが繰り広げられ、応援する声や手にも思わず力が入りました。

また、ふるさとふれあい教室は、古牧小学校を会場に、小学生からお年寄りの方まで、多くの皆様に参加していただき、昼食づくり、ウォークラリー、ゲーム遊びを通して、生活・文化・異年代交流を体験していただきました。



健全育成部

子ども達の活動を活性化

健全育成部では、青少年の健全育成を目指し、各地区の支部長を通し子ども達の活動の活性化を図るため、23年度以下の活動を行いました。

- ・5/23～6/3 あいさつ運動
 - ・5/28 第10回古牧地区子ども会総会
 - ・5/22、9/25 ドッジボール線審講習会
 - ・7/24 中学生球技大会（ボーリング）
 - ・10/2 少年少女球技大会（ドッジボール）
 - ・10/9 少年少女球技大会（野球）
 - ・10/16 ふるさとふれあい教室（レクリエーション担当）
 - ・2/18 第10回古牧地区子ども会活動発表会
- 中学生球技大会は、近年参加者が減っていましたが今年度は昨年を上回る参加が得られ盛大に行う事ができました。

その他の活動は、子ども会長を中心に子ども達が自主的に進められるように支援し活動を行いました。



広報部

通信員の活動はHPで充実

- 1 ぷらネットこまき 12回発行
(特集 福祉・人権男女共同参画含む)
- 2 HP通信員の開設 (12名)
- 3 HPトップ写真毎月変わる 地域の欄の充実
- 4 HPに「おらが町の史跡・文化財」欄新設
課題 読みやすく内容の充実した広報紙へ
HPの視聴率を高めるための内容の充実・
通信員活動の日常化

事務局

事務局員1名増員で、事務局が強化

6月から事務局員が1名増員になり、毎日事務室が開かれ、住民自治協議会の事務体制が整備・強化されました。

お知らせ

24年度住民自治協議会総会を開催します。
日時：平成24年4月22日(日)午後2時～
場所：古牧公民館 2階集会室


人生の成功者となるには、チームプレーが求められるスポーツ選手のように働くことが大切と思う。勝利のために多球種の投球をマスターしていることが一流投手の条件の一つであろう。ストレートしか投げれない自分ではあるが地域社会の中で皆と、時と場所を共有し、仲良く幸せに働きたいと思っている。

(井原 寿行)

信頼の輪をひろげたい

私たちは一生のうち何人の人と出会うのであろうか。退職の時、上司から問われた言葉である。自分の人格形成に大きな影響を与えてくれる人もあれば、こんにちは、さようならの人もいる。人間は大勢の人と関係し合って生きてゆくが、かけがえのない信頼できる人間に出会えるのは残念だがひとにぎりしかいない。貴方はそのひとでも思い出し、良き上司の下で働かせていただいたことに感謝している。

しゃばえんびつ



第10回古牧地区子ども会活動発表会

2月18日(土)古牧公民館にて、第10回古牧地区子ども会活動発表会が開催されました。1年間の活動や、こんな事を子ども会でやりたいと自分達で計画実施した活動内容を、各地区毎に工夫して発表していました。活動内容には、お化け屋敷、夏祭り、三世代交流運動会などがあり、それぞれの地区で、苦労した点・工夫した点・感想など詳しく発表しており、聞く方も真剣に聞く事が出来ました。今後子ども会を引き継ぐ5年生も参加し、発表を聞いた事で来年度の参考になったようです。



**「広げよう 地域に根ざしたおもいやい」
～こんにちは民生児童委員です～**

平成24年度民生児童委員の活動強化週間は、5月12日(土)～5月18日(金)です。
全国一斉の取り組み日は、5月13日(日)です。
なんでもお気軽に相談してください。
民生児童委員と仲良くなってください。
古牧地区民生児童委員協議会

民生委員児童委員信条

- 一、わたしたちは、隣人愛をもって社会福祉の増進に努めます。
- 一、わたしたちは、常に地域社会の実情を把握することに努めます。
- 一、わたしたちは、誠意をもってあらゆる生活上の相談に応じ、自立の援助に努めます。
- 一、わたしたちは、すべての人々に協力し明朗で健全な地域社会づくりに努めます。
- 一、わたしたちは、常に公正を旨として人格と識見の向上に努めます。

古牧地区住民自治協議会のホームページアドレス

URL <http://www4.ocn.ne.jp/~komakij/>

- 発行所 古牧地区住民自治協議会
- 発行者 湯澤 角雄
- 編集 ぷらネットこまき編集委員会
- 印刷 (有)小池印刷

古牧地区の世帯数と人口

24年3月1日現在

10,551 世帯

26,075 人

(男 12,880人 女 13,195人)